

## 「2022年国際電気通信連合（ITU）全権委員会議（PP-22）」の開催結果について

### 1. 概要

2022年9月26日から10月14日にかけて、ルーマニア（ブカレスト）において、2022年国際電気通信連合（ITU）全権委員会議（Plenipotentiary Conference 2022；PP-22）が開催され、ITU加盟国193か国・地域の代表団、セクターメンバー及び国際機関からのオブザーバーを含め、約2,500名が出席しました。我が国からは、柘植総務副大臣をはじめ、政府・民間企業の専門家等、計110名が出席しました。

### 2. 会合内容および選挙結果

本会合では、2024年から4年間の活動方針（戦略計画）及び予算の大枠（財政計画）等に関する審議のほか、57の決議及び2の決定の改訂、1の決議の削除、6の新決議の作成に合意しました。また、ITU事務総局長など幹部職員の選挙等が行われ、2023年からの4年間の新執行部が選出されました。

我が国からは、尾上誠蔵氏（NTT CSSO）が、有効票179票の過半数である93票（投票181票、無効2票、棄権0票）を獲得し、電気通信標準化局長に選出されました。また、事務総局長にはMs. Doreen BOGDAN-MARTIN（米国）が、女性として初めて選出されました。また我が国は1959年以降14回連続で理事国に選出されました。